

令和3年度 第3回 境港市環境審議会 議事録（要旨）

- 日 時：令和4年1月17日（月） 午後3時30分～午後4時30分
- 場 所：境港商工会議所 大ホール
- 出席者：別紙名簿のとおり
- 内容

1 開会

2 会長あいさつ

- ・開会にあたり、伊達会長があいさつ

3 議事

（1）境港市環境基本計画（修正案）について

境港市環境基本計画（修正案）について、事務局が資料に従って説明した。

（2）意見交換

（会長）

ただいまご説明頂きました境港市環境基本計画修正案につきまして、皆様にご議論頂きたいと思います。ご意見やご質問がありましたら、お願いできますでしょうか。

私一つよろしいですか。

20ページの目標値について、現況の468人から20%増の560人とのことですが、20%に何か根拠的なものがあるのでしょうか。

（事務局）

この中海穴道湖一斉清掃というのは、6月の第2日曜日に行うイベントですが、1度に集まる人数はほぼ限られておまして、当初は、500人ぐらいが精一杯かなというところでしたが、前回のご指摘を頂きまして、さらに範囲を広げるなど、もう少し上乘せするという事で、2割とさせて頂きました。

（会長）

目標なので多いのはいいと思いますけど、集まるかなというのがあって、あまり目標値が高いと、達成できなかった理由について述べないといけないので。他のところの目標値は、10%増というのがあったので、その辺は統一性がないのかと思ったのと、集められるならいいですけど、これから人も減っていく中で、バランスとしてちょっとどうかと思いました。

ほかに皆様から、ご質問等ありましたらよろしくお願いします。

（委員）

25ページに環境イベントの開催が年2回とありますけど、環境基本計画を読む一般の方からしてみると、具体的にどんなことをやっているのだろうというところに多分関心があると思います。キャンドルナイトと米子市との清掃イベントのことなど、具体例をあげれば一般の方も分かりやすいのかなと思います。

それと、2点目ですが、26ページだけではないですけど、例えば農業とか、水産業との関わりが多いということだと思ったのが、脱炭素のところ、いわゆる緩和策と適応策があって、境港市としてその適応策というのを考えていくときに農業とか、水産業とかの情報がすごく大事だと思います。例えば、境港市は適応策をやる時に、そこの繋がりを大事にするという意味でも農業、水産業との関わりというところも何かここに書けるかどうか分からないですけど、そういう繋がりも出来たらと思います。

これは私の感想ですけど、30ページ以降のところ、例えば蓄電池が災害に役立つとか、太陽光パネルの設置というところもあって、私の体験談で、11年前にうちの家が、オール電化にした翌年でして、大雪で停電して大変な目にあいました。オール電化だからいいと思うと意外な落とし穴があるなと思いました。例えば、多様なエネルギーの活用というのも大事かなと。例えばガスがあると災害時に役立つとありますけど、お湯も作れますし、暖も取れますので、これもここに書けるかどうかは別として、多様なエネルギーを確保しておくことも大事なことだと思います。多様なエネルギーをうまく使っていくということもあった方がいいのかなと思いました。

(事務局)

ご指摘の25ページのイベントにつきましては、具体的に書かせて頂きたいと思います。

農業、水産業との関わり、オール電化の落とし穴について、おっしゃった通り計画に直接書けるか分かりませんが、内容を検討させていただきます。

(委員)

22ページに関係すると思いますが、中海の水質浄化対策の中で、下水の整備に合わせて、実際水洗化している率というのは、どうなのですかね。結局、下水道を整備しても、繋がらなければ、効果がないということで、そのあたりが現状どうなっているのかということと、何かしらそういった取り組みを推進するべきであれば、そういった文言を加味しておいた方がいいというのが1点目。

2点目は、28ページの環境保全活動の推進という中で、基本計画の中ではないですけど、今後の進め方として、例えば先ほどあった具体的な事例、公民館とか企業の取り組みを皆さんに紹介するような見える化をすとか、市民の意識調査をやっていったらどうか。この基本計画の中に特に入れて下さいというわけじゃないですけど、今後の取り組みとして、そんなことを意識しながら、環境対策をやって頂けたらということでございます。

(事務局)

ありがとうございました。下水の接続率の数字を今持っておりませんので、また確認をさせていただきます。表現として入れた方がいいかというところは、検討させていただきます。

それから2番目にご指摘頂きました公民館、企業の取り組みの紹介ですとか、今後の意識調査というところは、この計画を策定した上で、進めていきたいと考えております。

(会長)

ちなみ私の研究室で中海の水質調査をよくやりますが、米子市の接続率だと7割から8

割ぐらいですが、継続率が高くなっても、水質があまり良くなっていくわけじゃない。根本的な中海が抱える問題みたいな方が影響している。接続率を上げた方がもちろん、いいですけど、水質面で見るとそこまで効いてこないと思います。

31 ページからの具体例ですけど、節電の一番上のところが、9ワットの LED を1日1時間短縮して年間で1.6kg、90円というのが、ちょっと悲しい数字なので、例えば、各家庭の平均待機電力が1年間でこれぐらいあって、それを何%削減するとこれぐらいの方が、金額面的にも、CO2 面的にも大きくなっていいと思います。

(事務局)

31 ページの節電のところの数字がその他と比べて寂しい数字になっておりまして、作るときに、どうかと思ったのですが、ご指摘がありましたので、他のものがないか検討させていただきます。

(委員)

キャンドルナイトを環境イベントに載せて頂けるということで、ありがとうございます。市と共同してどういうことができるかというのは、計画とは別ですけど、いろいろ具体的な案を考えていけたらいいのかなというふうに考えております。

今朝、情報番組で聞いたのですが、東京の世田谷区で、粗大ごみを区で回収をして、それをまた無料で必要な人にお渡しするという取り組みをされているというお話がありました。そういったことを今後、市で取り組んでいくための実験の場として、キャンドルナイトと市で何か共同してできないかということを考えております。

13 ページのブルーカーボンについて、前回の会の中で、会長から、ブルーカーボンが境港のCO2の削減にどれぐらい合うのかという話がありましたが、このまま、継続して載せておいても特に問題がないのかお伺いします。

(事務局)

キャンドルナイトは、市も積極的に関わらせて頂きたいと思っております。

粗大ごみの取り組みということですが、本市でも最近、非常に粗大ごみが増えております。境港市内には、リユースショップというのもございませぬし、何か取り組みをしないといけないと考えているところです。ここでアイデアを頂きましたので、検討させて頂きたいと思っております。

ブルーカーボンについてですが、おっしゃるように前回ご指摘をいただきまして、本当に境港に馴染むのか正直未知数なところがございまして。今年度、松江市がブルーカーボンの可能性調査ということで、コンサルタント会社に委託をして、周辺のブルーカーボンの可能性調査をされております。境港市でもそういった調査が、進めていけないかというふうには考えているところです。これがものになるか確信はないですが、海に囲まれた町ということで、可能性を探っていきたくて考えております。

(委員)

14 ページに営農型太陽光発電というのをに入れてありますが、非常に良い取り組みだと思

いますし、導入できる場所があれば、入れていかれるといいのかなと思います。

実際に取り組むときに、農業委員会の許可を取るのが非常に大変だったという体験談を伺ったことがありまして、やりたい人と、その許可を出す方の橋渡しを環境衛生課で取り組まれる可能性はあるのかお伺いしたいところです。

(事務局)

営農型太陽光発電につきましては、おっしゃるとおり農地転用等の手続きが必要になって参ります。この計画全般に言えることですが、市役所内の各部署と連携を図りながら、全体的に進めていきたいと考えておりまして、その点も農政課と情報共有しながら進めていきたいと考えております。

(会長)

私から一つ。4ページのSDGsのところですけど、もうちょっと書いてもいいのかなと思います。いきなりSDGsと書いてありますが、何の略語か知らない人もいますので、一応書いた方が良くのかなと思います。これを達成することで、よりよい世界をというのはもちろん分かりますけど、もうちょっと書いてある方が良くかなと思いました。

(委員)

17ページ。4R プラスリニューアブルですけど、ちょっと細かいことですが、その下の四つのRのところ、カタカナですけど、カタカナの後にアルファベットがあると、これがアールだなんていうのが分かると思います。

(事務局)

SDGsの件、ご指摘の通りだと思いますので、説明を付け加えたいと思います。

4Rのところは、アルファベットを入れさせて頂きたいと思います。

(委員)

基本目標3の自然との共生、あと次の、持続可能な社会の形成にも関わってきますが、前回お話し申し上げました日本財団の件です。日本財団の中で、海と日本のプロジェクトをやっておりまして、去年は隠岐でやっていたと思いますけど、海洋環境とか、自然と共存するとか、海の豊かさを守ろうという活動を地元の小中学生と一緒にやっておられます。確か西部でやったことはないと思いますが、財団の補助も頂けると思います。また、海と日本のプロジェクトの宣伝番組をどこかの局が、15分枠ぐらいでやっています。いわゆるマスメディアを通じたような宣伝も行われていますので、ご参考にしていければよろしいかと思えます。

(委員)

主に19ページと35ページに関することですが、食品ロスです。食品ロスに似た言葉で食品廃棄物という言葉があって、この区別も難しいところですが、実は大切なことだと思ひまして、食品廃棄物というのは、多分年間3千万トンくらいあったと思いますが、そのうち、食べられるのに捨てられてしまうのが食品ロスです。この食べられるのに廃棄されてしまうというところを強調してもいいと思います。食品廃棄物のうち食品ロスが年間600万

トンくらいあるとそういう表記もあっていいと思います。

(事務局)

おっしゃる通り食品ロスのところは食品ロスの説明をあまりしていませんでしたので、説明を入れたいと思います。

(会長)

そうすると、いくつか修正はあると思いますが、大きい修正はそんなに無いと思います。境港市環境基本計画修正案につきまして、ただいまの皆様から頂いたご意見を反映した上で、パブリックコメントにかけたいと思いますので、それでよろしいでしょうか。賛成の方は拍手で、お願いできますでしょうか。

※拍手多数

ありがとうございました。それでは、皆様にご承認をいただきましたので、事務局はパブリックコメントの手続きをお願いいたします。

(3) その他

事務局より、今後のスケジュールについて説明した。

4 閉会